

動物管理学科

グルーミングコース

授業科目	動物関係学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 グルーミングコース	1年次（前期）	必修	講義	2単位
担当教員	三善 知美				
実務経験歴	J K C公認トリマー資格、ハンドラー資格を有し、ペットショップでのグルーミングや生体管理、ブリーディングに携わる業務に従事				
授業目的	犬種のスタンダードを十分に理解し、様々な犬種に応じた飼育管理やグルーミング管理ができる知識を修得する。				
達成目標	犬種の沿革や特長、資質や気質などのスタンダードを十分に理解した上での犬の扱い方や、飼育管理の方法、グルーミングなどを行うことのできる知識と技術を修得する。				
授業時間外に必要な学修	J K C ドッググルーミングマニュアルや犬種標準書を熟読しスタンダードを理解する。また、家庭犬や学校飼育犬の日頃の管理をとおして犬の動きや汚れやすい部位を考慮したトリミングスタイルを考える。				
テキスト	犬種標準書/ J K C，最新ドッググルーミングマニュアル/ J K C				
参考書	プロが教えるベストトリミング/インターズー，トリム/インターズー				
成績評価(割合)	実技試験（100％）にて優・良・可・不可にて評価				
授業内容とスケジュール					
1回	ケネルクラブとスタンダード				
2回	血統書とは、見方等				
3回	ドッグショーの審査基準・流れ				
4回	ドッグショーの審査基準・流れ				
5回	第1グループ（犬種の用途やルーツ）				
6回	第2グループ（犬種の用途やルーツ）				
7回	第3グループ（犬種の用途やルーツ）				
8回	第4グループ（犬種の用途やルーツ）				
9回	第5グループ（犬種の用途やルーツ）				
10回	第6グループ（犬種の用途やルーツ）				
11回	第7グループ（犬種の用途やルーツ）				
12回	第8グループ（犬種の用途やルーツ）				
13回	第9グループ（犬種の用途やルーツ）				
14回	第10グループ（犬種の用途やルーツ）				
15回	期末試験・総評・まとめ				
16回	定期試験・総評				
備 考					

授業科目	犬学・犬種標準学Ⅰ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 グルーミングコース	1年次（後期）	必修	講義	1 単位
担当教員	三善 知美				
実務経験歴	J K C 公認トリマー資格、ハンドラー資格を有し、ペットショップでのグルーミングや生体管理、ブリーディングに携わる業務に従事				
授業目的	犬種のスタンダードを十分に理解し、様々な犬種に応じた飼育管理やグルーミング管理ができる知識を修得する。				
達成目標	犬種の沿革や特長、資質や気質などのスタンダードを十分に理解した上での犬の扱い方や、飼育管理の方法、グルーミングなどを行うことのできる知識と技術を修得する。				
授業時間外に必要な学修	J K C ドッググルーミングマニュアルや犬種標準書を熟読しスタンダードを理解する。また、家庭犬や学校飼育犬の日頃の管理をととして犬の動きや汚れやすい部位を考慮したトリミングスタイルを考える。				
テキスト	犬種標準書/J K C，最新ドッググルーミングマニュアル/J K C				
参考書	プロが教えるベストトリミング/インターズー，トリム/インターズー				
成績評価(割合)	実技試験（100％）にて優・良・可・不可にて評価				
授業内容とスケジュール					
1回	犬のライフサイクルと管理の方法1				
2回	犬のライフサイクルと管理の方法2				
3回	犬体用語、カラーについて1				
4回	犬体用語、カラーについて2				
5回	犬種のスタンダードとグルーミングについて1				
6回	犬種のスタンダードとグルーミングについて2				
7回	犬種のスタンダードとグルーミングについて3				
8回	犬種のスタンダードとグルーミングについて4				
9回	犬種のスタンダードとグルーミングについて5				
10回	犬種のスタンダードとグルーミングについて6				
11回	犬種のスタンダードとグルーミングについて7				
12回	犬種のスタンダードとグルーミングについて8				
13回	犬種のスタンダードとグルーミングについて9				
14回	犬種のスタンダードとグルーミングについて10				
15回	期末試験・総評・まとめ				
備 考					

授業科目	犬学・犬種標準学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 グルーミングコース	2年次（通年）	必修	講義	2単位
担当教員	三善 知美				
実務経験歴	J K C公認トリマー資格、ハンドラー資格を有し、ペットショップでのグルーミングや生体管理、ブリーディングに携わる業務に従事				
授業目的	犬種のスタンダードを十分に理解し、様々な犬種に応じた飼育管理やグルーミング管理ができる知識を修得する。				
達成目標	犬種の沿革や特長、資質や気質などのスタンダードを十分に理解した上での犬の扱い方や、飼育管理の方法、グルーミングなどを行うことのできる知識と技術を修得する。				
授業時間外に必要な学修	J K C ドッググルーミングマニュアルや犬種標準書を熟読しスタンダードを理解する。また、家庭犬や学校飼育犬の日頃の管理をとおして犬の動きや汚れやすい部位を考慮したトリミングスタイルを考える。				
テキスト	犬種標準書/ J K C，最新ドッググルーミングマニュアル/ J K C				
参考書	プロが教えるベストトリミング/インターズー，トリム/インターズー				
成績評価(割合)	実技試験（100％）にて優・良・可・不可にて評価				
授業内容とスケジュール					
1回	犬種のスタンダードとグルーミングの方法1				
2回	犬種のスタンダードとグルーミングの方法2				
3回	犬種のスタンダードとグルーミングの方法3				
4回	ドッグショー見学と犬種のスタンダードについて				
5回	ドッグショー見学と犬種のスタンダードについて				
6回	ドッグショー見学と犬種のスタンダードについて				
7回	ドッグショー見学と犬種のスタンダードについて				
8回	定期試験・総評				
9回	犬種のスタンダードとグルーミングの方法4				
10回	犬種のスタンダードとグルーミングの方法5				
11回	犬種のスタンダードとグルーミングの方法6				
12回	犬種のスタンダードとグルーミングの方法7				
13回	ドッグショー見学と犬種のスタンダードについて				
14回	ドッグショー見学と犬種のスタンダードについて				
15回	ドッグショー見学と犬種のスタンダードについて				
16回	定期試験・総評				
備 考					

授業科目	動物管理学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 グルーミングコース	1年次（前期）	必修	講義	2単位
担当教員	三善 知美，平田 康、岡本 侑也				
実務経験歴	三善：J K C公認トリマー，ハンドラー資格を有し、ペットショップでのグルーミングや生体管理、ブリーディングに携わる業務に従事。 平田：J K C公認トリマー、愛玩動物飼養管理士などの資格を有し、動物病院に従事。 岡本：JKCトリマー資格を有し、ドッグサロン、トリマー養成教育に従事				
授業目的	グルーミングの意義や目的から骨格構成や各部位の構造や手入れの方法を学ぶ。その他、犬種やその個体に応じたグルーミング器具やシャンプー剤などの選択方法を知り適切なグルーミングが施せるよう理論的に学ぶ。				
達成目標	それぞれの犬種や健康状態に応じたグルーミング知識を習得し、実践授業に繋げていくことを目標とする。				
授業時間外に必要な学修	各家庭での飼育動物や学校飼育動物の管理をとおして、グルーミングの必要性から日頃のグルーミングの方法を考え実践する。				
テキスト	最新ドッググルーミングマニュアル/ J K C， トリマーのためのベーシックテクニック/緑書房				
参考書	ドッググルーマーズプロフェッショナルワークブック/インターズー， 犬種標準書/J K C				
成績評価(割合)	筆記試験（100％）にて優・良・可・不可にて評価				
授業内容とスケジュール					
1回	グルーミングの意義・目的・心構えについて				
2回	グルーミングにおける環境づくりと衛生管理				
3回	トリマーとしての身だしなみと衛生管理				
4回	グルーミング器具 1 ブラシ類などの種類と扱い方，消毒の方法，管理の方法など				
5回	グルーミング器具 2 鋏やクリップなどの種類と扱い方，消毒の方法，管理の方法など				
6回	犬の体の基礎知識 1 （犬体名称，骨格名称，健康確認，各部位の構造と手入れの方法）				
7回	犬の体の基礎知識 2 （皮膚と被毛，トリマーとして知っておくべき皮膚疾患）				
8回	グルーミングの基礎知識 1 （シャンプー剤の種類と選択の方法，シャンプーの手順と方法）				
9回	グルーミングの基礎知識 2 （タウェリングとドライングの手順と方法）				
10回	グルーミングの専門用語（J K Cに準ずる）				
11回	犬体の専門用語（J K Cに準ずる）				
12回	プードルのサマーカット（テディベアカットなど）				
13回	J K C公認 トリマー資格取得についてプードルのスタンダードについて				
14回	J K C公認ペットクリップについて（プードルのケネル&ラムクリップ）				
15回	定期試験・振り返り・総評				
備 考					

授業科目	美容理論				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 グルーミングコース	1年次（後期）	必修	講義	2単位
担当教員	三善 知美				
実務経験歴	J K C公認トリマー，ハンドラー資格を有し、ペットショップでのグルーミングや生体管理、ブリーディングに携わる業務に従事。				
授業目的	犬種のスタンダードを十分に理解し、犬種のスタンダードに応じたトリミングが施せる知識を習得する。またスタンダードを十分に理解したうえで、一般の家庭犬が日常健康で生活しやすいトリミングスタイルの提案ができることを目標とする。				
達成目標	J K C公認トリマーC級ライセンス取得，一般家庭犬のグルーミング施術ができる知識を習得することを目標とする。				
授業時間外に必要な学修	J K C ドッググルーミングマニュアルや犬種標準書を熟読しスタンダードを理解する。また、家庭犬や学校飼育犬の日頃の管理をとおして犬の動きや汚れやすい部位を考慮したトリミングスタイルを考える。				
テキスト	最新ドッググルーミングマニュアル/ J K C，犬種標準書/ J K C				
参考書	プロが教えるベストトリミング/インターズー， トリム/インターズー				
成績評価(割合)	筆記試験（100％）にて優・良・可・不可にて評価				
授業内容とスケジュール					
1回	仔犬や老犬の健康の確認とグルーミングにおける注意点				
2回	日常生活や健康管理を考えたかカットスタイルの提案とトリミングの方法 1				
3回	日常生活や健康管理を考えたかカットスタイルの提案とトリミングの方法 2				
4回	グルーミング犬種のグルーミング 1				
5回	グルーミング犬種のグルーミング 2				
6回	シザーリング犬種のグルーミング 1				
7回	シザーリング犬種のグルーミング 2				
8回	シザーリング犬種のグルーミング 3				
9回	シザーリング犬種のグルーミング 4				
10回	ブラッキング犬種のグルーミング 1				
11回	ブラッキング犬種のグルーミング 2				
12回	ブラッキング犬種のグルーミング 3				
13回	スイニング犬種のグルーミング 1				
14回	スイニング犬種のグルーミング 2				
15回	定期試験・振り返り・総評				
備 考					

授業科目	美学・造形美術				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 グルーミングコース	1年次（後期）	必修	講義	1単位
担当教員	三善 知美・岡崎 福雄				
実務経験歴	【三善】J K C公認トリマー資格、ハンドラー資格を有し、ペットショップでのグルーミングや生体管理、ブリーディングに携わる業務に従事 【岡崎】デザイン・デッサンに30年以上関わる経験を持つ				
授業目的	デッサンや粘土などをおとしてカットスタイルや犬の動きや骨格構成を考えイメージする。また、発想を自由に、アレンジやクリエイティブなトリミングなどオリジナルスタイルを提案することを目的とする。				
達成目標	空間を捉えて画を描いたり粘土作成することで犬の骨格構成や動きを考えた仕上げをイメージ。また陰影を作ることにより立体的に仕上げていく力を身につけることを目標とする。				
授業時間外に必要な学修	日常の飼育管理や校外で犬を観察することで犬の骨格構成から見えてくる犬の動きや被毛の動きを感じ取る				
テキスト	最新ドッググルーミングマニュアル/ J K C				
参考書	犬種標準書/ J K C				
成績評価(割合)	筆記試験（100％）にて優・良・可・不可にて評価				
授業内容とスケジュール					
1回	犬体の描き方				
2回	被写体（プードル）描体制作				
3回	描体画完成				
4回	色鉛筆による描体塗画演習				
5回	色鉛筆による描体塗画演習・描体画完成				
6回	犬顔部分オリジナル制作				
7回	犬顔部分オリジナル制作・完成				
8回	定期試験・総評・まとめ				
9回					
10回					
11回					
12回					
13回					
14回					
15回					
備 考					

授業科目	生命倫理・福祉学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 グルーミングコース	1年次（前期）	必修	講義	2単位
担当教員	樋口 菜津子				
実務経験歴	動物病院にて動物看護師として従事。愛玩動物看護師資格を有する。				
授業目的	動物を取り扱う業務に携わる上で必要な動物の疾患や栄養学、繁殖などのについての知識を修得する。				
達成目標	トリマーや販売士としてサロンやペットショップに従事する者として、責任を持ち動物を適切に扱うことのできる知識の修得を目標とする。				
授業時間外に必要な学修	家庭犬や学校飼育犬の日頃の管理をとおして犬の健康管理や施設の衛生管理に務める。				
テキスト	めざせ早期発見！わかる犬の病気/インターズー				
参考書	トリム/インターズー				
成績評価(割合)	記述試験（100％）にて優・良・可・不可にて評価				
授業内容とスケジュール					
1回	全身チェック				
2回	体調チェック				
3回	人獣共通感染症				
4回	病気の予防(ワクチンについて)				
5回	皮膚の作り				
6回	皮膚の病気				
7回	皮膚の病気2				
8回	耳の作り				
9回	耳の病気				
10回	耳の病気2				
11回	目の作り				
12回	目の病気				
13回	目の病気2				
14回	期末試験対策				
15回	期末試験・総評・まとめ				
備 考					

授業科目	獣医衛生・繁殖学Ⅰ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 グルーミング	1 年次（後期）	必修	講義	2単位
担当教員	樋口 菜津子				
実務経験歴	動物病院にて動物看護師として従事。愛玩動物看護師資格を有する。				
授業目的	動物の病気についての知識を付け、お預かりの体調チェック、お預かり後の体調チェックに役だてる。				
達成目標	動物の病気に関して知識を付けると共に、お預かりする際に自身で判断できる能力を身につける。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	めざせ早期発見！わかる犬の病気/著書:小沼守/インターズー				
参考書	ビジュアルで学ぶ動物看護学				
成績評価(割合)	定期試験結果及びレポート、出席、授業態度等により総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	鼻と口のつくり				
2回	鼻と口の病気				
3回	鼻と口の病気2				
4回	泌尿器、生殖器のつくり				
5回	お尻、お腹まわりの病気1				
6回	お尻、お腹まわりの病気2				
7回	足先、膝、腰まわりのつくり				
8回	足先、膝、腰まわりの病気				
9回	足先、膝、腰まわりの病気2				
10回	犬種によってかかりやすい病気1				
11回	犬種によってかかりやすい病気2				
12回	子犬、子猫の体調管理				
13回	子犬、子猫がかかりやすい病気				
14回	期末試験対策				
15回	期末試験・総評・まとめ				
備 考					

授業科目	獣医衛生・繁殖学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 グルーミングコース	2 年次（前期）	必修	講義	2単位
担当教員	樋口 菜津子				
実務経験歴	動物病院にて動物看護師として従事。愛玩動物看護師資格を有する。				
授業目的	動物を取り扱う業務に携わる上で必要な動物の疾患や栄養学、繁殖などのついで知識を修得する。				
達成目標	トリマーや販売士としてサロンやペットショップに従事する者として、責任を持ち動物を適切に扱うことのできる知識の修得を目標とする。				
授業時間外に必要な学修	家庭犬や学校飼育犬の日頃の管理をととして犬の健康管理や施設の衛生管理に務める。				
テキスト	めざせ早期発見！わかる犬の病気/インターズー				
参考書	トリム/インターズー				
成績評価(割合)	記述試験（100%）にて優・良・可・不可にて評価				
授業内容とスケジュール					
1回	学外研修				
2回	学外研修				
3回	学外研修				
4回	学外研修				
5回	学外研修				
6回	学外研修				
7回	学外研修				
8回	学外研修				
9回	栄養学				
10回	栄養学				
11回	皮膚と被毛の知識				
12回	皮膚と被毛の知識				
13回	ケア商品について				
14回	ケア商品について				
15回	前期定期試験・振り返り・総評				
備 考					

授業科目	ハンドリングⅠ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 グルーミングコース	1年次（前期）	必修	講義	1単位
担当教員	三善 知美				
実務経験歴	J K C公認トリマー資格、ハンドラー資格を有し、ペットショップでのグルーミングや生体管理、ブリーディングに携わる業務に従事				
授業目的	犬種のスタンダード，ドッグショーの目的，ハンドラーの仕事とは。これらのことを理解し、トリマーとして必要な知識と技術を修得する。				
達成目標	各犬種にはスタンダードがあり、ドッグショーにおいてはよりスタンダードに基づき質の高い犬を後世に残していくということを十分に理解する。また、ショーにおける審査基準や、スタック、歩行パターン、リードコントローるなどを学びことを目標とする。				
授業時間外に必要な学修	家庭飼育犬や学校飼育犬の健康と被毛などの管理をとおして、犬を美しく見せる，正しく歩かせる，リードコントロールなど日頃から意識を持って犬と関わりを持つことが必要。				
テキスト	ハンドリングマニュアル/ J K C				
参考書	犬種標準書/ J K C，プロが教えるベストトリミング/インターズー				
成績評価(割合)	筆記試験（100％）にて優・良・可・不可にて評価				
授業内容とスケジュール					
1回	犬種のスタンダードとは、ドッグショーの歴史と目的				
2回	ドッグショーの審査基準とシステム				
3回	正しいスタックの取り方				
4回	リードのかけ方、持ち方				
5回	歩様、歩行のパターン				
6回	ドッグショー見学と出陳の流れ1				
7回	ドッグショー見学と出陳の流れ2				
8回	定期試験・総評・まとめ				
9回					
10回					
11回					
12回					
13回					
14回					
15回					
備 考					

授業科目	ハンドリングⅡ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 グルーミングコース	1年次（後期）	必修	講義	1単位
担当教員	三善 知美				
実務経験歴	J K C公認トリマー資格、ハンドラー資格を有し、ペットショップでのグルーミングや生体管理、ブリーディングに携わる業務に従事				
授業目的	ショーダッグのコートの管理やトレーニングの必要性や方法を学ぶ。また、ハンドラーとして必要な知識と技術について学ぶ。				
達成目標	ショーダッグにおける飼育やコートの管理からトレーニングについて理解を深めることで、トリマーとしての知識と技術の向上や犬との信頼関係の築き方を修得する。				
授業時間外に必要な学修	家庭飼育犬や学校飼育犬の健康と被毛などの管理をとおして、犬を美しく見せる，正しく歩かせる，リードコントロールなど日頃から意識を持って犬と関わりを持つことが必要。				
テキスト	ハンドリングマニュアル/ J K C				
参考書	犬種標準書/ J K C，プロが教えるベストトリミング/インターズー				
成績評価(割合)	筆記試験（100％）にて優・良・可・不可にて評価				
授業内容とスケジュール					
1回	ショーダッグの管理について1				
2回	ショーダッグの管理について2				
3回	正しいリードセットの方法				
4回	正しいスタックの取り方				
5回	ドッグショー見学とショーにおけるリードコントロールとハンドリング1				
6回	ドッグショー見学とショーにおけるリードコントロールとハンドリング2				
7回	ドッグショー見学とショーにおけるリードコントロールとハンドリング3				
8回	定期試験・総評・まとめ				
9回					
10回					
11回					
12回					
13回					
14回					
15回					
備 考					

授業科目	動物管理学演習				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 グルーミングコース	1 年次（前期）	必修	実技	12単位
担当教員	三善 知美、平田 康、岡本 侑也、日高 弥生、森田 美桜、平岡 一妃、三宅 海音				
実務経験歴	三善：JKCトリマー，ハンドラー資格を有しペットショップに従事。 平田：JKCトリマー資格を有し、動物病院に従事。 岡本：JKCトリマー資格を有し、ドッグサロン、トリマー養成教育に従事 日高：JKCトリマー資格を有し、動物病院に従事。 森田：JKCトリマー資格を有し、ペットショップに従事。 平岡：JKCトリマー資格を有し、ドッグサロンに従事。 三宅：JKCトリマー有資格				
授業目的	トリマーとして受付業務に携わる上での接客対応の技術を修得する。グルーミングを行う上での基礎技術を修得する。				
達成目標	お客様が安心して愛犬を預けることができるよう適切な受付業務が行える技術を修得。犬の健康状態を把握し、基礎的なグルーミングワークを行うことができる技術を修得。				
授業時間外に必要な学修	家庭犬や学校飼育犬の日頃の管理をととして犬の身体の異変やコート管理など、小さな異変にもより早く気付くことのできる観察力を磨く。				
テキスト	最新ドッググルーミングマニュアル/J K C，トリマーのためのベーシックテクニック/緑書房				
参考書	プロが教えるベストトリミング/インターズー、トリム/インターズー				
成績評価(割合)	実技試験（100％）にて優・良・可・不可にて評価				
授業内容とスケジュール					
1回～15回	受付業務，カルテの見方，書き方				
16回～32回	グルーミング器具の持ち方、扱い方、衛生管理				
33回～47回	施設の衛生管理				
48回～61回	犬の抱き方、扱い方、犬舎やクレートの出し入れの仕方				
62回～72回	口輪、エリザベスカラー、リードの装着と脱着				
73回～83回	犬の健康確認の方法と記録の取り方				
84回～94回	ブラッシングの方法				
95回～105回	各部位の手入れの方法				
106回～116回	リボンの作製とセットの方法				
117回～127回	シャンプーやコンディショナーの選択と希釈の方法				
128回～139回	ペイジングの方法と手（基礎1）				
140回～152回	タウェリングの方法と手順（基礎1）				
153回～164回	ドライイングの方法と手順（基礎1）				
165～179回	足裏，足周り，肛門周り，触毛などの処理の方法と手順				
180回	筆記試験及び実技試験・総評				
備 考					

授業科目	グルーミング技術Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 グルーミングコース	1 年次（後期）	必修	実技	12単位
担当教員	三善 知美、平田 康、岡本 侑也、日高 弥生、森田 美桜、平岡 一妃、三宅 海音				
実務経験歴	三善：JKCトリマー，ハンドラー資格を有しペットショップに従事。 平田：JKCトリマー資格を有し、動物病院に従事。 岡本：JKCトリマー資格を有し、ドッグサロン、トリマー養成教育に従事 日高：JKCトリマー資格を有し、動物病院に従事。 森田：JKCトリマー資格を有し、ペットショップに従事。 平岡：JKCトリマー資格を有し、ドッグサロンに従事。 三宅：JKCトリマー有資格				
授業目的	受付では、お客様が安心して愛犬を預けることのできる接客対応の技術を修得。グルーミングにおいては、グルーミング犬種の仕上げとグルーミング犬種やトリミング犬種トリミングの基礎を修得する。				
達成目標	受付では飼い主より犬の情報を聴取し、安全にグルーミングするために必要な受付対応を行う。グルーミングでは、犬種のスタンダードを理解し、短時間で効率よく安全にグルーミングを行う技術を修得。				
授業時間外に必要な学修	家庭犬や学校飼育犬の日頃の管理をとおして犬の身体の異変やコート管理など、小さな異変にもより早く気付くことのできる観察力を磨く。				
テキスト	最新ドッググルーミングマニュアル/J K C，トリマーのためのベーシックテクニック/緑書房				
参考書	プロが教えるベストトリミング/インターズー、トリム/インターズー				
成績評価(割合)	実技試験（100％）にて優・良・可・不可にて評価				
授業内容とスケジュール					
1回～15回	受付業務の基礎とカウンセリング 1				
16回～32回	受付業務の基礎とカウンセリング 2				
33回～47回	グルーミングを行う上での保定とスタック 1				
48回～61回	グルーミングを行う上での保定とスタック 2				
62回～72回	グルーミング犬種のグルーミングワークと仕上げ 1				
73回～83回	グルーミング犬種のグルーミングワークと仕上げ 2				
84回～94回	グルーミング犬種のグルーミングワークと仕上げ 3				
95回～105回	グルーミングドール プードルのペットクリップ 初級 1				
106回～116回	グルーミングドール プードルのペットクリップ 初級 2				
117回～127回	グルーミングドール プードルのペットクリップ 初級 3				
128回～139回	グルーミングドール プードルのペットクリップ 初級 4				
140回～152回	グルーミング犬種のトリミング ペットクリップ 初級 1				
153回～164回	グルーミング犬種のトリミング ペットクリップ 初級 2				
165～179回	グルーミング犬種のトリミング ペットクリップ 初級 3				
180回	筆記試験及び実技試験・総評				
備考					

授業科目	グルーミング技術Ⅲ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 グルーミングコース	2 年次（後期）	必修	実技	2 4 単位
担当教員	三善 知美、平田 康、岡本 侑也、日高 弥生、森田 美桜、平岡 一妃、三宅 海音				
実務経験歴	三善：JKCトリマー，ハンドラー資格を有しペットショップに従事。 平田：JKCトリマー資格を有し、動物病院に従事。 岡本：JKCトリマー資格を有し、ドッグサロン、トリマー養成教育に従事 日高：JKCトリマー資格を有し、動物病院に従事。 森田：JKCトリマー資格を有し、ペットショップに従事。 平岡：JKCトリマー資格を有し、ドッグサロンに従事。 三宅：JKCトリマー有資格				
授業目的	J K C 公認トリマー C 級ライセンス取得を目的とし技術を取得する。また、おけるお客様とその愛犬からも信頼されトリマーとしてショップやサロンなどに従事できる技術を取得する。				
達成目標	受付をとおして犬の健康状態の確認や飼い主からのグルーミング要望を聴取やトリマーとしてカットスタイルの提案を行う。グルーミングでは、犬種のスタンダードを十分に理解したグルーミング・トリミングと併せて、飼い主の要望に応えることのできる技術の修得をする。				
授業時間外に必要な学修	家庭犬や学校飼育犬の日頃の管理をとおして犬の身体の変異やコート管理など、小さな異変にもより早く気付くことのできる観察力を磨く。				
テキスト	最新ドッググルーミングマニュアル/ J K C，トリマーのためのベーシックテクニック/緑書房				
参考書	プロが教えるベストトリミング/インターズー、トリム/インターズー				
成績評価(割合)	実技試験（100％）にて優・良・可・不可にて評価				
授業内容とスケジュール					
1回～15回	受付業務 電話対応 1				
16回～32回	受付業務 電話対応 2				
33回～47回	グルーミングを行う上での保定とスタック 1				
48回～61回	グルーミングを行う上での保定とスタック 2				
62回～72回	グルーミング犬種のグルーミングとトリミング 1				
73回～83回	グルーミング犬種のグルーミングとトリミング 2				
84回～94回	グルーミング犬種のグルーミングとトリミング 3				
95回～105回	グルーミング犬種のグルーミングとトリミング 4				
106回～116回	ドッグサロンにおけるプラスα技術 1				
117回～127回	ドッグサロンにおけるプラスα技術 2				
128回～139回	トリミング犬種の犬種のグルーミングとトリミング 1				
140回～152回	トリミング犬種の犬種のグルーミングとトリミング 2				
153回～164回	トリミング犬種の犬種のグルーミングとトリミング 3				
165～179回	トリミング犬種の犬種のグルーミングとトリミング 4				
180回	筆記試験及び実技試験・総評				
備 考					

授業科目	総合研究				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 グルーミングコース	2 年次（通年）	必修	講義	1 単位
担当教員	三善 知美、平田 康、岡本 侑也				
実務経験歴	三善：J K C 公認トリマー，ハンドラー資格を有し、ペットショップでのグルーミングや生体管理、ブリーディングに携わる業務に従事。 平田：J K C 公認トリマー、愛玩動物飼養管理士などの資格を有し、動物病院に従事。 岡本：JKCトリマー資格を有し、ドッグサロン、トリマー養成教育に従事				
授業目的	グルーミングコースの授業で学んだグルーミングの理念に基づき、更なる研究テーマに沿って論文などを作成する。				
達成目標	各自、研究テーマを決定し、調査や実践な研究を行いトリマーとしての判断力や実践能力を身につける。				
授業時間外に必要な学修	ペットショップやドッグサロンにトリマーとして従事するにあたり、心身共に健康であり、また、常に向上心を持ち続けることができるよう意識を高めることが必要。				
テキスト	各教科で使用したテキスト				
参考書					
成績評価(割合)	制作した論文など（100%）にて優・良・可・不可にて評価				
授業内容とスケジュール					
1回	研究テーマ検討				
2回	研究テーマ検討・テーマ決定				
3回	テーマに沿って研究				
4回	テーマに沿って研究				
5回	テーマに沿って研究				
6回	テーマに沿って研究				
7回	テーマに沿って研究・論文作成				
8回	テーマに沿って研究・論文作成				
9回	テーマに沿って研究・論文作成				
10回	テーマに沿って研究・論文作成				
11回	テーマに沿って研究・論文作成				
12回	テーマに沿って研究・論文作成				
13回	テーマに沿って研究・論文作成				
14回	テーマに沿って研究・論文作成				
15回	まとめ・総評				
備 考					